

## 盗まれた小便小僧

ベルギー編③



2014/08/26

## グランプラスの市立博物館

ベルギーに関しての知識が皆無の私ですら、小便小僧が知られるように便小僧だけは知っていた。なったかを調べてみるのそれだけ有名ということも旅の楽しみの一つだ。

一六一九年に制作された像は、ブリュッセルが敵の爆弾で破壊されそうになった時、時の王子が小便で爆薬の火を消したことに由来する。ジュリアン君の愛称で市民に親しまれたが、世界的に有名になるきっかけは像が盗まれたからだ。像は高さ五十六センチと小さいので、盗まれやすいのも事実。十八世紀にフランス軍がベルギーに侵攻した際、酔っぱらったフランス兵が像を盗んだ。市民たちは自国に侵攻し、マスコットの像まで盗んだことに抗議のデモをする。

これを知ったフランス国王ルイ十五世はトランプが大返させ、お詫びに金の刺しゅう入りの小便小僧の衣装を贈った。これ以降、世界各地から像の衣装が贈られるようになり、今ではその数八百四十着。世界一衣装持ちの像として知られるようになった。まさに「禍転じて福」である。

その衣装は「世界で最も美しい広場」といわれるブリュッセルのグランプラスにある市立博物館に展示されている。小便小僧の像はこの広場の市庁舎の横の路地を三百センチばかり入った四つ角にある。衣装も見る予定にしていたが、ここでハプニングが発生した。この日は朝から小雨が降り、少し寒かった。私は心臓病でペースメーカーを入れており、主治医から体にむくみを感じたら利尿剤を飲むように言われている。朝、その薬を小僧のことを考えた。

飲み、ちようど小便小僧の像に着いたころ、薬の効果が見え始めたのである。

小便小僧の小さなペトボトルを作り「この水は貴方の家を火災から守る」と土産品にしたり、小便小僧ベルギービールを作る。また五年後の像生誕四百年を機に小便小僧募金で世界の貧しい子供基金をと観光客に呼びかけるなど話題づくりが肝要である。

小学生よりも小さい小便小僧

「ブリュッセルの最長老市民」というキャッチフレーズなんかより、もつと小便小僧を上手に利用したらよいのではと。小便小僧の小さなペトボトルを作り「この水は貴方の家を火災から守る」と土産品にしたり、小便小僧ベルギービールを作る。また五年後の像生誕四百年を機に小便小僧募金で世界の貧しい子供基金をと観光客に呼びかけるなど話題づくりが肝要である。



2014/08/26